

オープン口頭しもん

これまでにない価値を伝える
場のプロデュース

- 日時：2024年1月31日(水)・2月1日(木)
両日共 13時-16時45分
- 会場：近畿大学B館10階法廷教室
- 発表者：
文芸学部文化デザイン学科
プロデュース系5期生24名
- ゲスト：
 - ・小島和人(ハモ)氏(1/31水)
株式会社ロフトワークプロデューサー
 - ・森下静香氏(2/1木)
Good Job!センター香芝センター長

ゲストコメンテーター

1/31水・登壇！ 2/1木・登壇！



小島和人(ハモ)さん
(株式会社ロフトワーク
プロデューサー)



森下静香さん
(Good Job!センター香芝
センター長)

近畿大学文芸学部文化デザイン学科は、「感性学」「デザイン」「プロデュース」という3つの系で構成される学科です。その中でもプロデュース系(プロデュースゼミ、ホスピタルアートゼミ、文化政策ゼミ)では、プロデュースを「社会にこれまで存在しなかった価値を、それを伝える場も含めて創造すること」と定義し、さまざまな分野のアート・文化コンテンツを通じた地域社会やケア領域へのアプローチを、理論研究と企画実践の両面から考えてきました。

この度はコロナ禍を経て、より多くの人たちに学生が培った研究成果を多様なアウトプットで伝える卒業作品展に合わせて、イベント「オープン口頭しもんーこれまでにない価値を伝える場のプロデュースー」を実施します。ゲストには地域活性化や次世代のコミュニケーションをプロデュースする2名をお招きし、学生の研究から生まれた社会に対する「まなざし」に対して、真摯にお答えいただきます。どうぞ奮ってご参加ください。

近畿大学文芸学部文化デザイン学科
プロデュース系学生(5期生)による制作・研究発表会2023

1月31日(水)

●プレゼンター

プロデュースゼミ

- ・ 泉水若葉／オーディション番組出身のJ01がファンから愛される理由 —ファンのあるべき姿
- ・ 野田光希／現代における音楽批評減少の考察及び批評文化の再普及
- ・ 森田華／ミュージカルを家屋で上演するにあたって発生する変化と効果

ホスピタルアートゼミ

- ・ 川口萌乃香／現代の日本女性の社会的役割とファッション
- ・ 金井智恵理／なぜ普通的女子大生が9ヶ月で20万着売り上げるアパレルブランドのプロデューサーになったのか
- ・ 吉田紗／価値あるものに別の価値を生み出す言葉の影響力について
- ・ 和田菜々美／ジェンダーから考える玩具の影響力と在り方

文化政策ゼミ

- ・ 何茉莉／応援消費 —対オタクマーケティングの多様化
- ・ 桑原優花／歌舞伎の現在と将来性
- ・ 菅沼大弥／21世紀の作曲方法の変化
- ・ 青柳怜奈／生で観る演劇の魅力
- ・ 西村太志／ストリーマーの配信文化

●両日のタイムスケジュール

※多少変更する可能性があります。

- 13:00 冒頭主旨説明
- 13:05 ゲスト自己紹介・ミニレク
- 13:15 転換
- 13:20 6名の学生によるプレゼン
- 14:50 休憩
- 15:00 6名の学生によるプレゼン
- 16:30 総評・まとめコメント
- 16:45 終了

2月1日(木)

●プレゼンター

プロデュースゼミ

- ・ 堺原東子／ボランティアを通して獲得できる学びの姿勢とそのプロセスとは
- ・ 市岡冬音子／Vlog記録からみる焼き芋事業の実態とプロモーションについて —NPO法人kokoimaを舞台に
- ・ 井手桃海／椅子が持つアフォーダンス性とより良い椅子をプロデュースするには
- ・ 佐々朋絵／食事をきっかけとした出会いの場づくり —カレーは場づくりのきっかけとなりうるのか

ホスピタルアートゼミ

- ・ 坪内美空／織細さんと多様な労働環境
- ・ 林咲良／絵画作品鑑賞における多角的な価値
- ・ 三浦穂乃花／福祉ネイルが高齢社会に及ぼす影響
- ・ 竹田満由子／ハワイ灯籠流し —グリーンケアとしての可能性

文化政策ゼミ

- ・ 橘美玲／艦これ —アニメツーリズムでみる街おこし
- ・ 中筋凜／博学連携事業の現状と今後の可能性
- ・ 塗木健介／フィットネス行動の多様化
- ・ 市川澗／日本はUSJとディズニーランドを人気パークにどう成長させていったのか